

(様式)民間事業者等と連携して行った事業一覧(R5.1.1~R5.12.31)

No.	包括連携先	連携項目	事業開始年月日	事業終了年月日	事業名称	事業内容	事業の対象				実績等	担当課
							市民	事業者	職員	その他		
1	岩手大学	生涯学習社会における諸課題への対応	R5.1.1	R5.12.31	盛岡市社会教育関係職員研修の共催、講師派遣	岩手大学地域社会教育推進室との共催により、大学教授等による専門的な講義を受け、社会教育施設職員としての資質の向上を図った。			○		参加者数:22人(市社会教育関係職員、岩手大学職員)	生涯学習課
2	岩手大学	その他	R5.9.1	R5.11.2	岩手大学地域連携フォーラムin盛岡	岩手大学の研究シーズや地域での具体的な取組事例を紹介する中から、地域・企業と岩手大学との新たな連携機会を模索するフォーラムを開催した。	○	○	○	○	現地77名、web36名	ものづくり推進課立地創業支援室
3	岩手大学	その他	R5.8.1	R6.2.29	地域課題解決共創事業「One+」	盛岡市の地域活性化や産業振興に資する取組を行う学生団体に対し、盛岡市・岩手大学連携推進協議会において、活動費(最大20万円)を支援した。				○	1団体に対し、交付決定済み	ものづくり推進課立地創業支援室
4	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	文学、文化、スポーツ及び教育に関すること。	R5.8.5	R5.8.6	石川啄木記念館ワークショップ「わたしのお茶碗」	啄木の短歌を描きこんだオリジナルのごはん茶碗を製作するワークショップを開催した。	○				参加者数72人	歴史文化課
5	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	文学、文化、スポーツ及び教育に関すること。	R5.10.21	R5.10.22	いわて盛岡シティマラソン2023	大会運営におけるボランティアを派遣した。	○				派遣人数31人	スポーツ推進課
6	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	文学、文化、スポーツ及び教育に関すること。	R5.6.29	R5.11.25	もりおかまるごと学びの場プロジェクト	盛岡大学文学部英語文化学科の「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」において全5回にわたる講義を実施した。講師として都市戦略室の方々を招き盛岡市の取組や実践事例との接点を学び、Morioka Trek Tourを作成し、発表した。	○			○	参加者数70人	都市戦略室
7	跡見学園女子大学	産業及び文化の振興に関すること。	R5.1.1	R5.12.31	文京区学生と創るアグリイノベーション事業	「地域コミュニティデザインの視点から見た、「もりおか短角牛」の現状と振興策の検討」に係るフィールドワーク等の調査・連携活動の実施した。	○	○	○		参加者数延べ25人	産業振興課
8	跡見学園女子大学	人材育成及び学術振興に関すること。	R5.3.31	R5.3.31	跡見学園女子大学地域交流センター年次報告書「ゆかり」第4号への寄稿	原則、年1回発行する、地域交流センター年次報告書「ゆかり」第4号へ特別寄稿を行った。				○	年次報告書の発行(掲載)	企画調整課
9	拓殖大学	産業及び文化の振興に関すること。	R5.1.1	R5.12.31	文京区学生と創るアグリイノベーション事業	「雁喰豆(黒平豆)の生産から販売まで一連の工程における課題解決に向けた取組の推進」に係るフィールドワーク等の調査・連携活動を実施した。	○	○	○		参加者数延べ39人	産業振興課
10	株式会社岩手銀行	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること。	通年		人事交流の実施	互いに職員を研修生として派遣する人事交流を行った。				○	期間:R5.4.1から1年間(H30年度に開始し6年目) 人数:岩手銀行及び市各1名 派遣・受入先:盛岡市商工労働部ものづくり推進課 ㈱岩手銀行地域貢献部	職員課 ものづくり推進課
11	株式会社岩手銀行	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること。	通年		市の情報発信に係る連携	市主催のセミナーや補助金などの情報を、㈱岩手銀行のオンラインサービスや営業店を通じて市内外の事業者にも周知した。				○	市主催のセミナーへの参加や補助金の申請へつながった。	ものづくり推進課外
12	株式会社岩手銀行	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること。	通年		情報・意見交換の実施	地域課題の解決に向けた様々な取り組みについて、盛岡市と㈱岩手銀行のそれぞれの担当部署による情報交換、意見交換を行った。				○	商工、観光、環境、福祉など様々な分野の取組について、それぞれの担当部署同士で情報・意見交換を行った。	ものづくり推進課外
13	株式会社岩手銀行	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること。	通年		市と事業者の面談設定	㈱岩手銀行の取引先で、盛岡市との面談を希望する事業者について、市の担当部署を紹介し、面談を設定した。				○	イベントで市の後援を受けたい事業者、市との連携を希望する事業者などの面談を設定し、具体的な取組につながった。	ものづくり推進課外
14	株式会社岩手銀行	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること。	R6.1.19	R6.1.19	物産展での連携	㈱岩手銀行が主催するいわて美味しいものフェア(物産展)を市が後援した。				○	市内事業者の出展につながった。	農政課
15	盛岡信用金庫	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること	R5.1.14	R5.11.9	起業家塾への講師派遣	起業・創業に興味のある方を対象に「起業家塾@もりおか」(全6回)、「起業家塾for Beginner@もりおか」(全1回)を開催した。	○				参加者数:「起業家塾@もりおか」41名、「起業家塾for Beginner@もりおか」1回目45名、2回目46名	ものづくり推進課立地創業支援室
16	盛岡信用金庫	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること	R5.1.1	R5.1.28	ビジネスプランコンテストへの審査員派遣	具体的なビジネスプランをお持ちの方を対象に、「盛岡地域ビジネスプランコンテスト」を開催した。	○	○			発表者4名、観覧者20名	ものづくり推進課立地創業支援室
17	東日本旅客鉄道株式会社	賑わいのある中心市街地のまちづくりに関すること。	R5.10.21	R5.10.21	もりおか駅前開運ホコテン	「居心地よく歩きたくなるまちなか」を目指して、盛岡駅前から開運橋までの5車線道路を歩行者天国とし、近隣飲食店の出店や緑日コーナー、フォトスポット等を設置した。	○	○		○	来場者延べ11,000人	経済企画課
18	東日本旅客鉄道株式会社	盛岡の観光振興及び魅力発信に関すること。	R5.2	R5.12.31	ニューヨーク・タイムズ紙報道を契機とした各種プロモーション	ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」に選定されたことから、東日本旅客鉄道株式会社と連携して各種プロモーションを展開した。				○	・山手線17駅構内への盛岡のPR広告看板の設置 ・主要駅のデジタルサイネージへの「盛岡」の紹介動画の放映 ・YouTubeのJR東日本公式チャンネルにおける「盛岡」の紹介動画の掲載 ・「盛岡」を紹介する独自のポスターを作成し、管内の各駅への掲出	観光課

No.	包括連携先	連携項目	事業開始年月日	事業終了年月日	事業名称	事業内容	事業の対象				実績等	担当課
							市民	事業者	職員	その他		
19	東日本旅客鉄道株式会社	交流人口及び関係人口の増加並びに移住定住の促進に関すること。	R5.4.22	R5.4.22	リビスタ盛岡駅前入居者向けイベント	リビスタ盛岡駅前に入居した学生向けに、盛岡の魅力を紹介するイベントを実施。盛岡市移住コーディネーターによる盛岡の魅力紹介を行った。				○	14名参加	都市戦略室
20	日本郵便株式会社	安全・安心な暮らし及び住みやすい環境の実現に関すること	通年		業務の範囲内での対象者の見守り	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	○				業務における見守りを実施した。R5は通報履歴はなし。	地域福祉課
21	明治安田生命保険相互会社	暮らしの安全・安心に関すること。	通年		業務の範囲内での対象者の見守り	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	○				業務における見守りを実施した。R5は通報履歴はなし。	地域福祉課
22	明治安田生命保険相互会社	暮らしの安全・安心に関すること。	R5.7.13	R5.7.13	暮らしに関する講座(整理収納講座)	河南公民館で暮らしに関する定期講座を開催した。	○				参加人数約10名	生涯学習課
23	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	R5.11.17	R5.11.17	市民の暮らしの充実(福祉サービスの向上)に向けた寄付	「私の地元応援募金(従業員募金と会社抛出寄附をマッチングした寄附)」による寄附をいただいた。	○	○			寄付額:1,074,500円	地域福祉課
24	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	R5.11.7	R5.11.7	自分で作る癒しと潤い講座～セルフケア、和菓子、よい睡眠でほっとする一時を～	「くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋」として、明治安田生命ファイナンシャルプランナーの方から、よい睡眠といったリフレッシュ方法を学び、自身で癒しと潤いを作り出し健康的ではつつとした生き方を続けることを考える機会とした。	○				参加人数:24人	上田公民館
25	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	R5.9.10	R5.9.10	Jリーグウォーキングin小岩井農場まきば園	盛岡市等の後援で市民の健康増進を目的に、小岩井農場まきば園内でウォーキングを開催した。	○	○			参加人数約250名	スポーツ推進課
26	明治安田生命保険相互会社	その他目的を達成するために必要な事項に関すること。	R5.9	R5.9	サウンドアーチ(電話音声明瞭器)の寄贈	架電者側の電話機に設置することで、高齢等で「聴こえ」に悩む市民とのコミュニケーションの改善に繋がっている。	○				1機	地域福祉課
27	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	地域・暮らしの安全・安心に関すること。	R5.7.26	R5.11.22	交通安全父親母親推進員・シルバー推進員交通安全教室	危険を予測し交通事故を防止する能力を高めるため、交通安全教室参加者に対し交通安全危険予測シミュレーターの体験会を2回実施した。	○				体験人数:37人	くらしの安全課
28	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	地域・暮らしの安全・安心に関すること。	通年		業務の範囲内での対象者の見守り	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	○				業務における見守りを実施した。R5は通報履歴はなし。	地域福祉課
29	大塚製菓株式会社	その他目的を達成するために必要な事項に関すること。	R5.5.16	R5.9.30	熱中症対策に関する放送備品の提供	熱中症対策校内放送用CD音源(盛岡市立幼稚園3園、小学校41校、中学校23校、高校1校分)、熱中症対策校内放送原稿の提供をいただき、児童生徒の熱中症対策の周知を行った。	○		○		盛岡市立幼稚園3園、小学校41校、中学校23校、高校1校分	企画調整課
30	大塚製菓株式会社	その他目的を達成するために必要な事項に関すること。	R5.4.1	R5.9.30	熱中症標語コンテストの実施	市内小中学生を対象に、熱中症に関する標語を募集し、熱中症予防に係る意識啓発を行った。(入賞者には、賞状と景品を贈呈した。)	○				応募数:586点(中学校・小学校の合計) 入賞者数:最優秀賞1点、優秀賞2点、大塚製菓賞4点、参加賞1点	企画調整課
31	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	男女共同参画の推進に関すること。	R5.12.10	R5.12.10	「令和のパパを学ぶ!子育て応援セミナー」の分科会「パパのためのラク家事講座」への講師派遣	これからパパになる方等に向けて家事初心者でも取り組める家事(掃除)のコツについての講座を実施した。	○				参加者:当該分科会は3名	男女共同参画推進室
32	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	衛生・健康増進に関すること。	R5.9	R5.9	盛岡市民生委員・児童委員研修(基礎編)講座開催	自由科目の中で「元気生活をおくるために～代謝と脂肪～」を実施した。				○	参加者数50人	地域福祉課
33	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	衛生・健康増進に関すること。	R5.9.27	R5.9.27	もりおか健康フェスタでの講座開催	「くらしなかの血流改善～入浴と蒸気温熱～」と題して、健康講座の開催した。	○				参加者数55人	健康増進課
34	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	衛生・健康増進に関すること。	R5.10	R5.10	市職員向け講習会での講座開催	市職員の安全衛生対策について、関連した情報提供や啓発活動等随時対策を行うことを目的とし、くらしのなかの血流改善～入浴と蒸気温熱～を実施した。				○	参加者数26人	職員課
35	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	子ども・子育て支援に関すること。	R5.1.17	R5.12.31	未就学児向け「花王・手洗い教室」	市内の保育施設に訪問し、未就学児へ手洗い教室を実施した。	○	○			6施設に対し7回開催 計337人参加	子育てあんしん課
36	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	若者の就労支援に関すること。	R5.3	R5.3	もりおか就職ガイダンス	就活生の身だしなみ研修を開催した。	○				参加学生数:29人	経済企画課
37	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	SDGsの推進に関すること。	R5.1	R5.1	公共施設男子トイレへのサニタリーボックス案内表示ステッカーの寄贈	加齢や病気の治療等により尿取りパッドを使用している方が、安心して公共施設等を利用できる環境を整えるため、市による男子トイレへのサニタリーボックス設置にあわせ、意識啓発も兼ねた案内表示ステッカーをデザイン・提供いただいた。	○	○	○		・トイレの入り口用1,000枚 ・個室ブース用に1,000枚	資産経営課